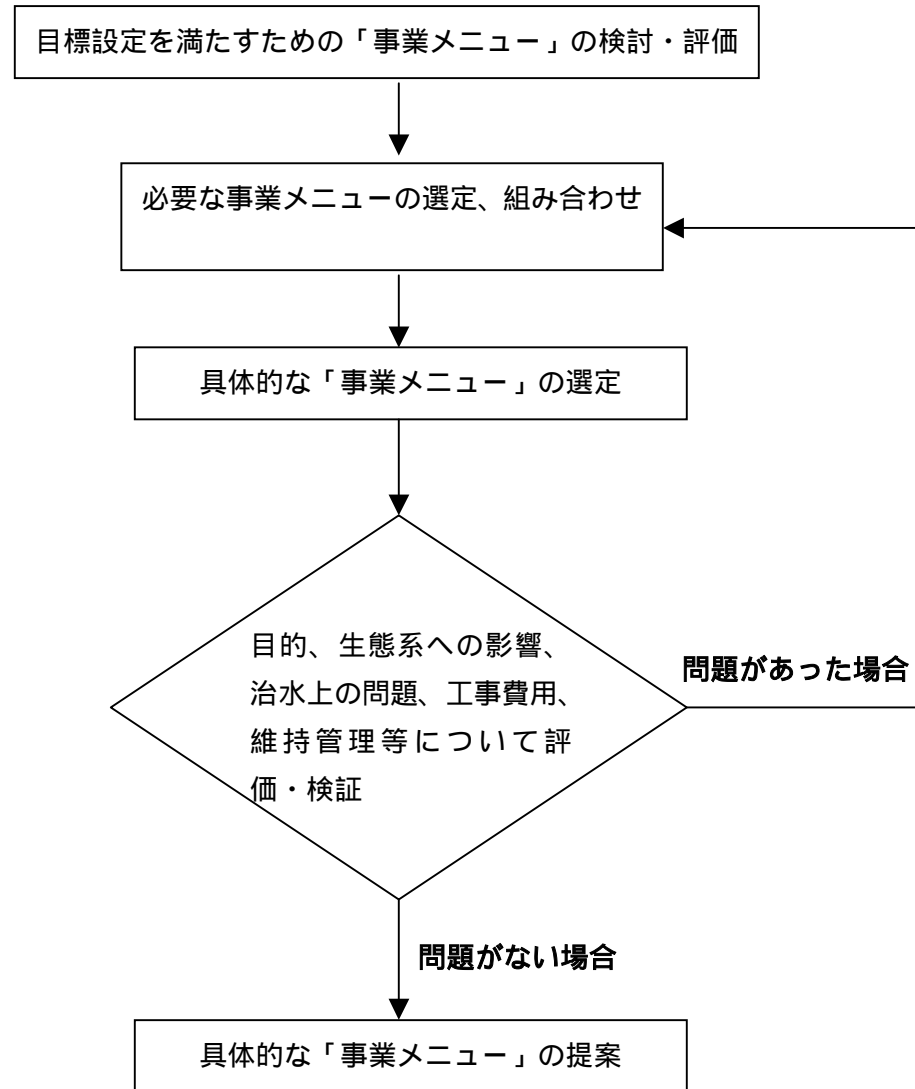


### 3. 目標設定に向けた事業メニューの検討

#### 3-1 目標設定に向けた事業メニューの検討方法

荒川太郎右衛門地区自然再生事業の方向性として、「湿地を再生する」ことが挙げられています。そこで、第3回協議会では湿地を再生するために、「旧流路への水確保の方法」についての議論をしていただきます。

事業メニューの選定に当たっては、事業の目的、生態系への影響、治水上の問題、概算事業費等の観点から検討をし、具体的な水確保の方法を提案していただきたいと思います。



#### 3-2 水の確保の方法

旧流路への水供給の方法としては、大きく分けて、以下の7つの方法が考えられます。

水の確保の方法	内容	事業メニュー（工事内容）
旧流路掘削	旧流路の河床高を荒川本川の河床高に合わせて、又は旧流路中の堆積物を除去して、自然な流入を期待する	旧流路の掘削
荒川本川からの導水	荒川本川から上・下池へ高水時に流入させる	本川との接続
	荒川本川の水位を上げて旧流路に流入させる	本川の埋め立て 本川の堰上げ
	荒川本川から機械により取水する	ポンプアップ
荒川本川上流からの導水	荒川本川上流部から、勾配により自然流下できる地点から導水する	荒川本川糠田橋付近からの導水
市野川からの導水	市野川から導水する	市野川からの導水路の設置
井戸水の利用	旧流路周辺で井戸を掘り、人工的に取水する	湧水（井戸水）の利用
雨水の利用	集水域を拡大して、上池および下池に流入する雨水を増量する	雨水の利用
上池・中池・下池の通水	3つの池を連続した水域とし、中池に供給されている水を上池、下池へ流入させる	上池・中池・下池の通水